【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第４区分
【発行日】平成27年7月30日(2015.7.30)

【公開番号】特開2015-104285(P2015-104285A)
【公開日】平成27年6月4日(2015.6.4)
【年通号数】公開・登録公報2015-036
【出願番号】特願2013-245323(P2013-245323)
【国際特許分類】
Ｈ０２Ｋ　3/34　(2006.01)
Ｈ０２Ｋ　1/16　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０２Ｋ　3/34　C
Ｈ０２Ｋ　1/16　A

【手続補正書】
【提出日】平成27年6月11日(2015.6.11)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
コイルを収容するスロットが形成された固定子鉄心と、
前記スロットの形状に対応する切欠部を有し、前記固定子鉄心の軸方向端面に配置された絶縁部材と、
前記スロット内に配置され、前記コイルと前記固定子鉄心との絶縁を確保するスロットセルと、を備え、
前記絶縁部材は、前記コイルの屈曲内径側において、前記スロットの側面を含む平面上に、前記切欠部の側面を合わせるように配置されており、
前記スロットセルの軸方向端部は、前記絶縁部材の軸方向端面と前記固定子鉄心の軸方向端面との間に配置されていることを特徴とする電動機用固定子。
【請求項２】
前記コイルの屈曲内径側において、前記絶縁部材の端部には、面取り加工が施されて、屈曲当接部が形成されており、
前記スロットセルの軸方向端部は、前記屈曲当接部と前記固定子鉄心の軸方向端面との間に配置されていることを特徴とする請求項１記載の電動機用固定子。
【請求項３】
前記スロットセルの端部は、折り曲げられて、折返し部が形成されており、
前記折返し部は、前記固定子鉄心の軸方向端面に係合されていることを特徴とする請求項１または請求項２に記載の電動機用固定子。
【請求項４】
前記折返し部は、前記絶縁部材に形成された溝に収容されていることを特徴とする請求項３記載の電動機用固定子。
【請求項５】
前記切欠部は、前記スロットよりも大きく形成されていることを特徴とする請求項１～請求項４のいずれか一項に記載の電動機用固定子。
【請求項６】
前記切欠部は、前記スロットと同形状に形成されていることを特徴とする請求項４記載

の電動機用固定子。